

東京国際空港 固定測定局における航空機騒音測定結果 (令和5年8月1日～8月31日)

【測定結果(8月)】浦安墓地公園

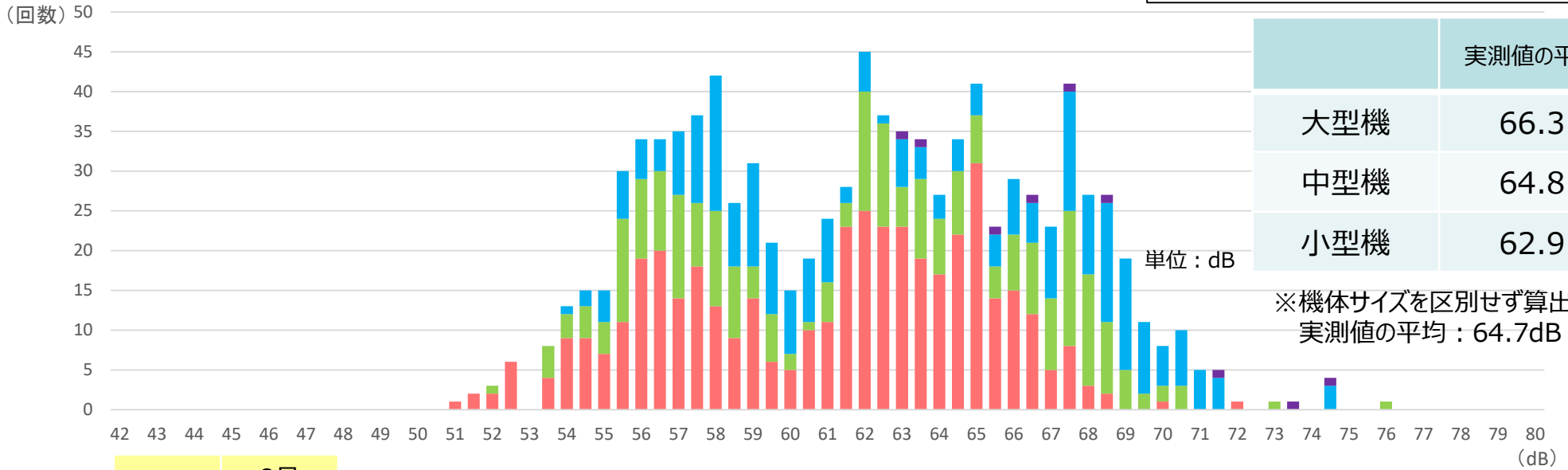
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北風離陸経路の側方に位置する。
- ・D滑走路南風悪天時着陸経路の側方400m程度に位置する。
- ・D滑走路南風悪天時着陸機とC滑走路南風、北風離陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路離陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：955



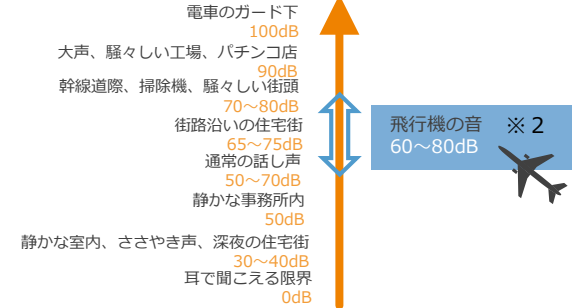
Lden 8月
46.2

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。

※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft（約305m）、離陸時で2000ft（約610m）以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

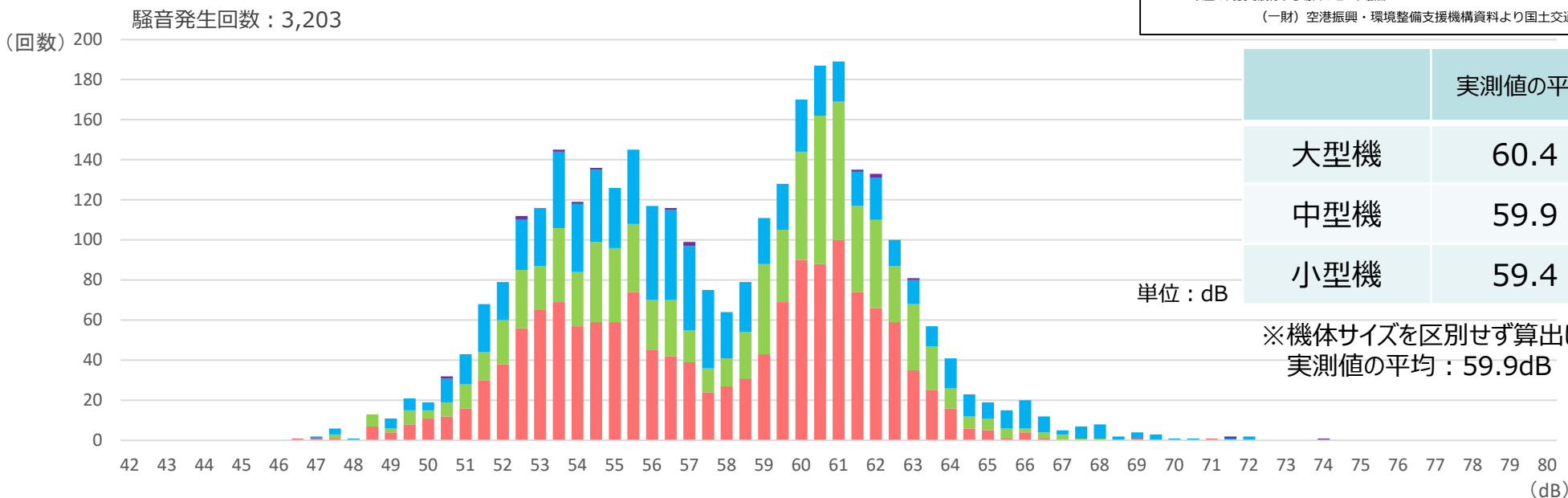
【測定結果(8月)】市川市立曾谷保育園

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北風離陸経路の側方に位置する。
- ・B滑走路南風悪天時着陸経路の側方500m程度に位置する。
- ・B滑走路南風悪天時着陸機とC滑走路南風、北風離陸機、C滑走路南風新飛行経路着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路離陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



Lden	8月
	45.9

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])

- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道路、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞こえる限界 0dB

↑ 飛行機の音 ※2 (60~80dB)

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L_A[dB]) での瞬間最大レベルを示したものを。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

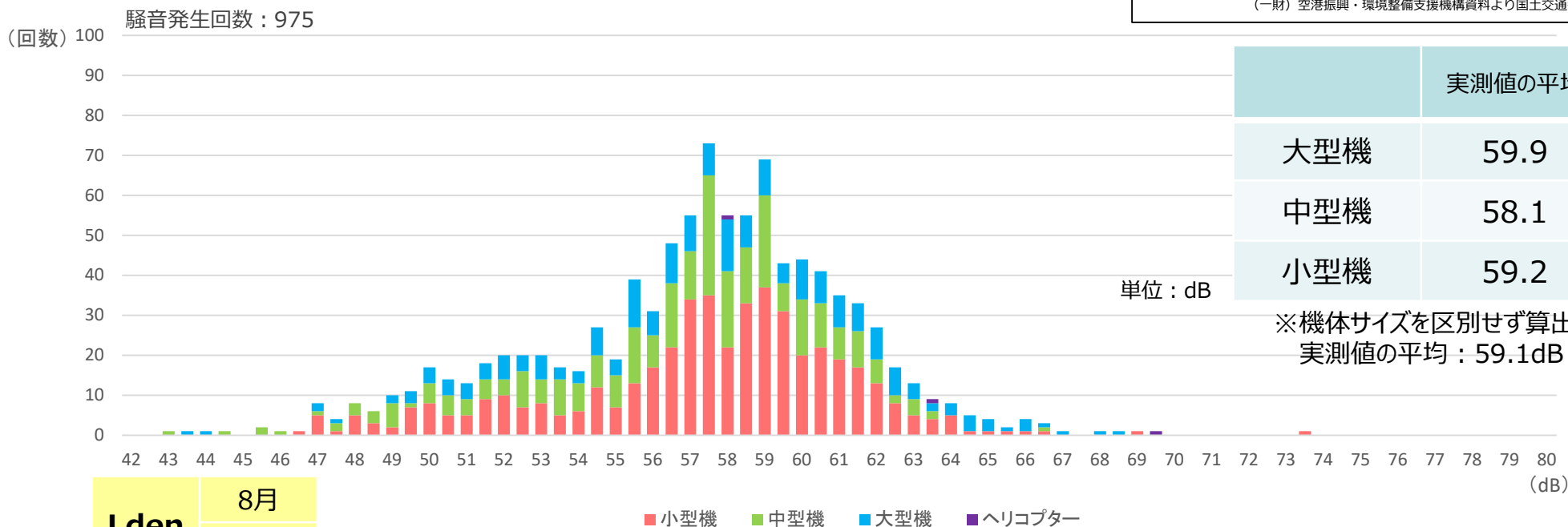
【測定結果(8月)】船橋市立小室中学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B及びD滑走路南風悪天時着陸経路の交差点付近に位置する。
- ・B及びD滑走路南風悪天時着陸機とD滑走路南風好天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・D滑走路好天時着陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

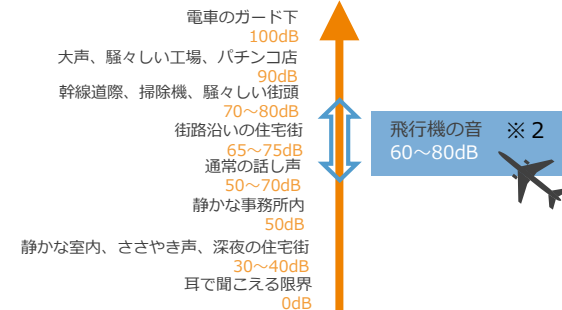
○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L_A[dB]) での瞬間最大レベルを示したものの。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で飛行する場合のピーク騒音
 (一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

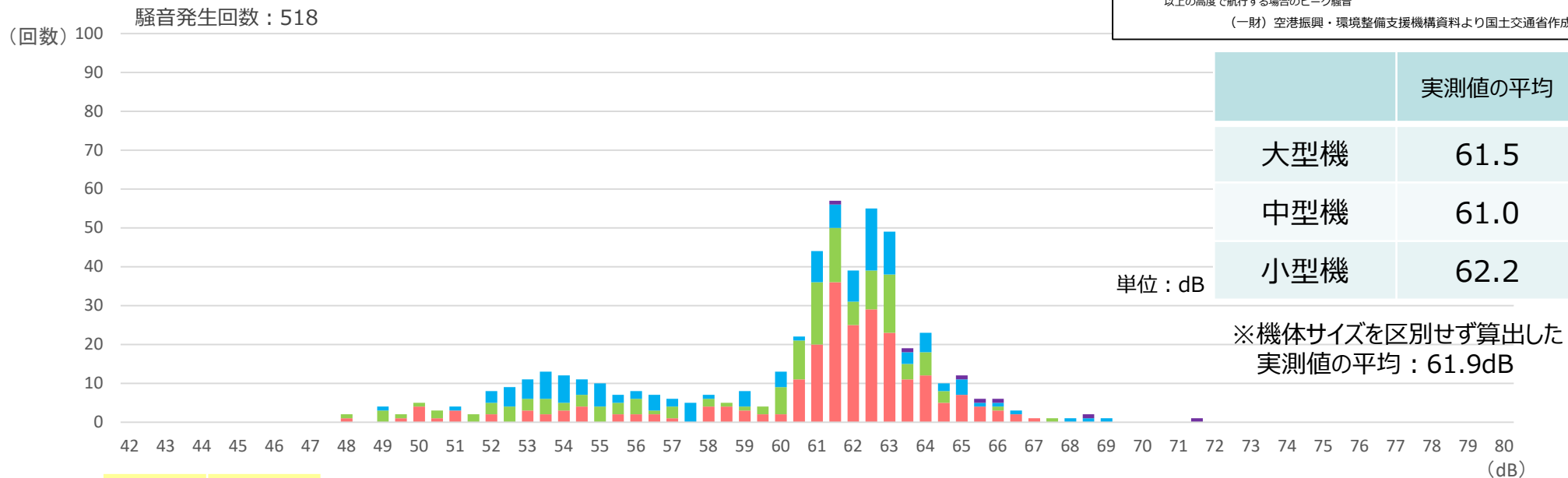
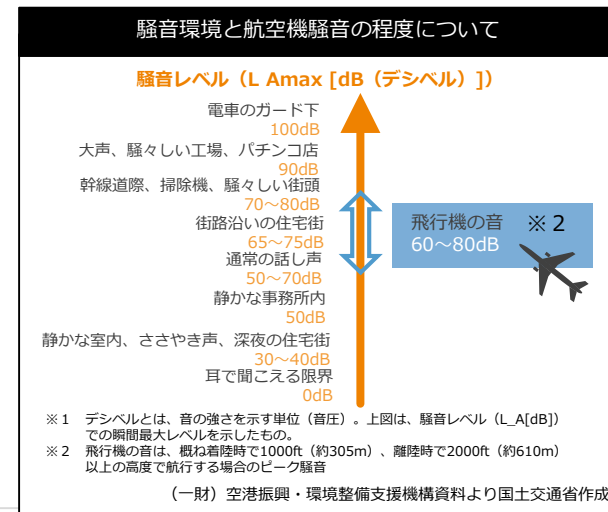
【測定結果(8月)】船橋市立中野木小学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・D滑走路南風悪天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・D滑走路南風悪天時着陸機とC滑走路南風、北風離陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路離陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



Lden	8月	41.6

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

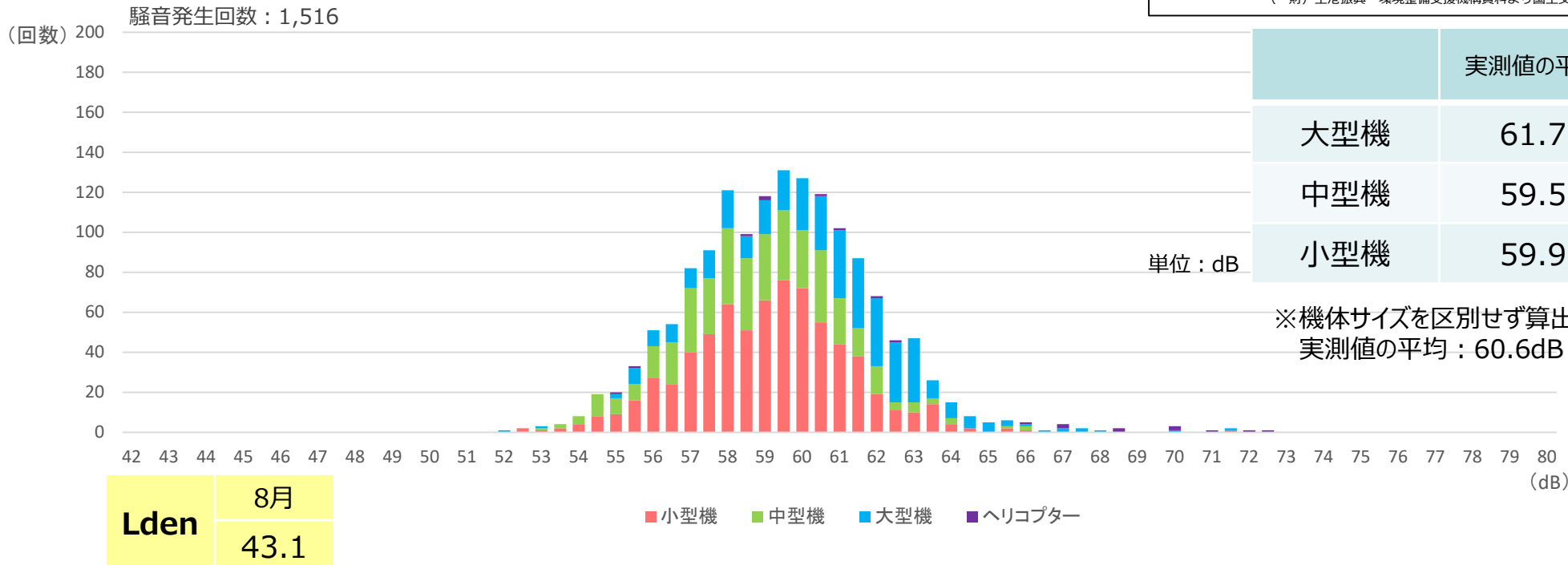
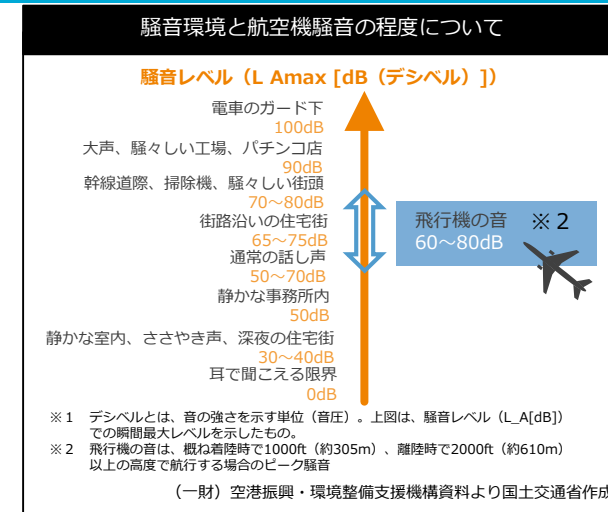
【測定結果(8月)】佐倉市立上志津中学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・D滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・D滑走路南風好天時、B滑走路南風悪天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・B滑走路南風悪天時着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】四街道市立みそら小学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・D滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・D滑走路南風好天時着陸機の航空機騒音を測定。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])

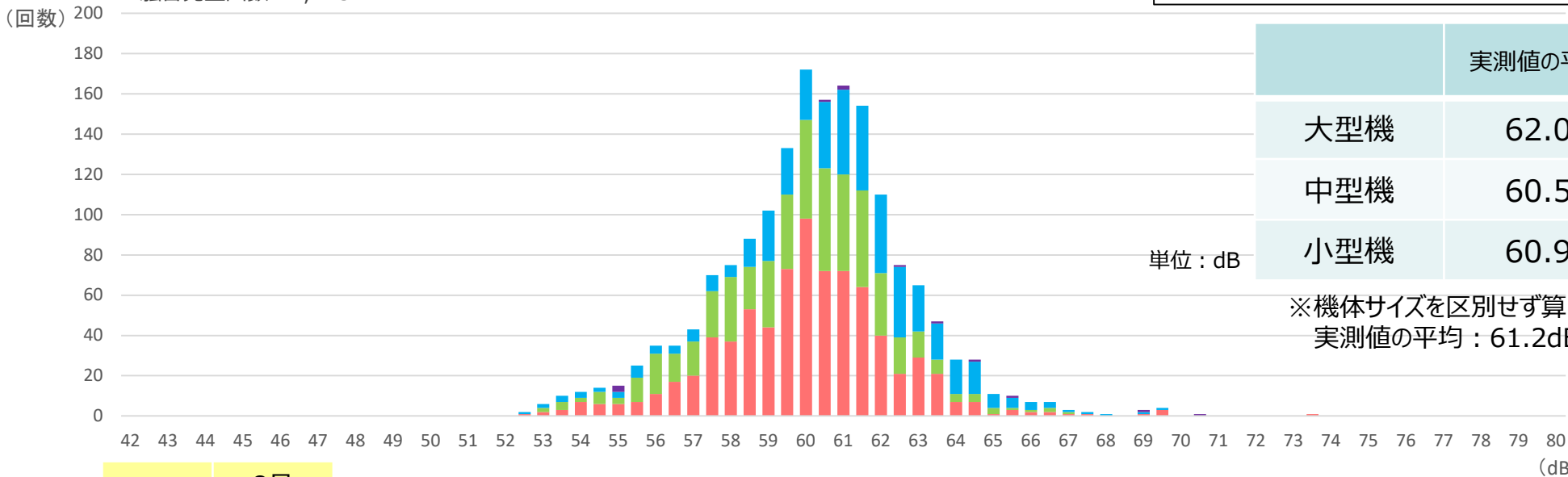
- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道際、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞こえる限界 0dB

飛行機の音 ※2 60~80dB

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L_A[dB])での瞬間最大レベルを示したもの。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft（約305m）、離陸時で2000ft（約610m）以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音発生回数：1,715



	実測値の平均
大型機	62.0
中型機	60.5
小型機	60.9

単位：dB

※機体サイズを区別せず算出した実測値の平均：61.2dB

Lden 8月 44.2

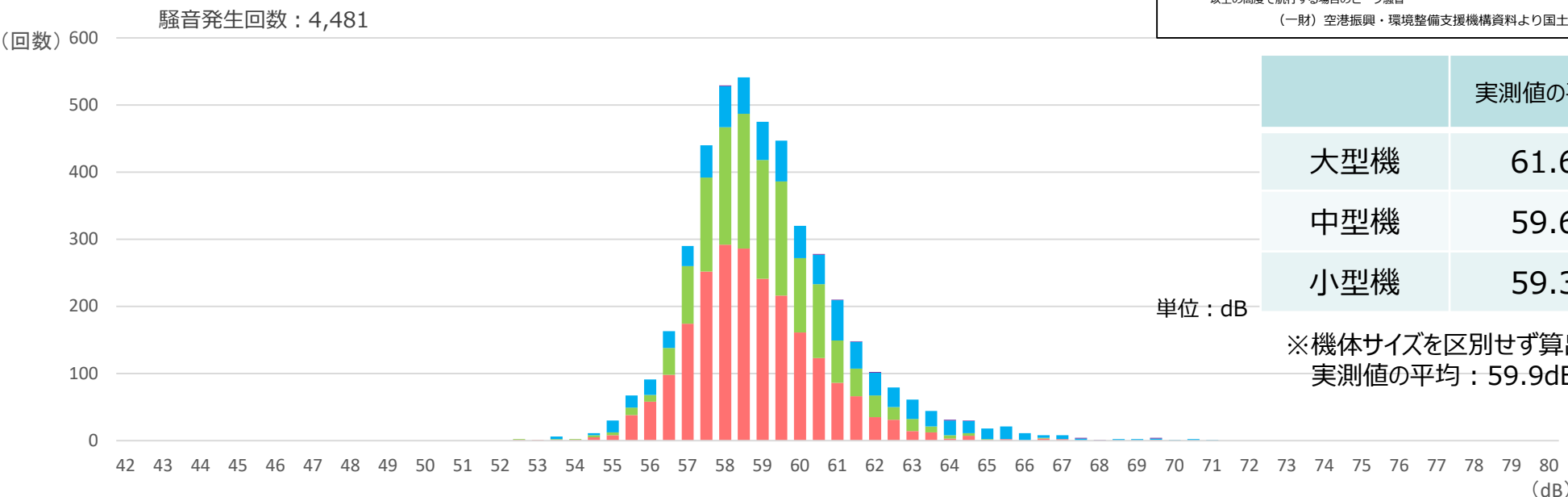
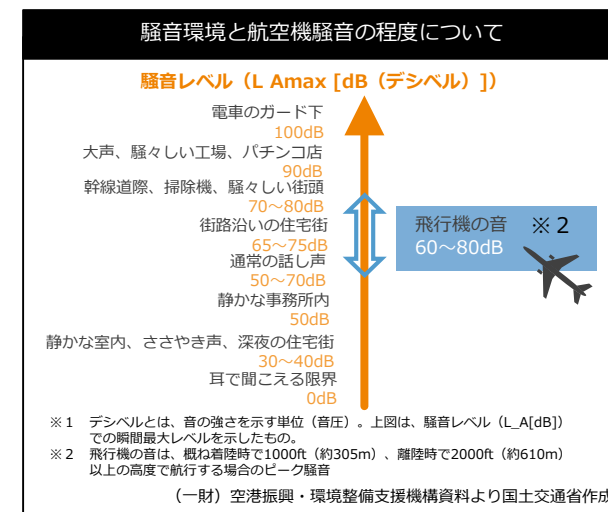
■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】千葉市立本町小学校

- 飛行経路と測定地点の位置関係等
 - ・B滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
 - ・B滑走路南風好天時及び悪天時着陸機の航空機騒音を測定。

- 実測値の分布
 実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
 ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



Lden	8月	48.4	■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

(参考)【測定結果(6月)】千葉市立平山保育所

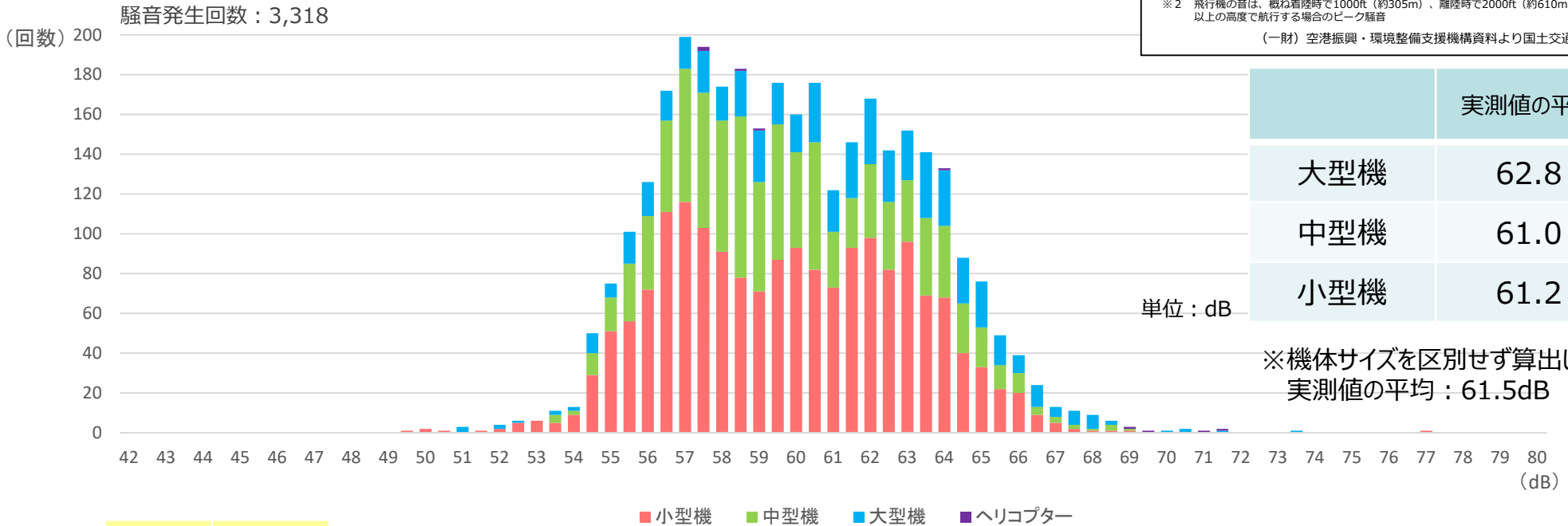
○平山保育所の屋上防水改修工事により6月30日から欠測となっているため、8月のデータは存在しない。そのため、参考として、6月のデータをお示しする。

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B及びD滑走路南風好天時着陸経路の交差点付近に位置する。
- ・B及びD滑走路南風好天時着陸機、B滑走路南風悪天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・B滑走路南風悪天時着陸経路を使用した航空機は高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示すると、以下のとおり。



Lden	6月
	48.2

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])

- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道際、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞こえる限界 0dB

飛行機の音 ※2 60~80dB

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) での瞬間最大レベルを示したもの。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

【測定結果(8月)】千葉市立大巖寺小学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・D滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・D滑走路及びB滑走路南風好天時、B滑走路南風悪天時、C滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])

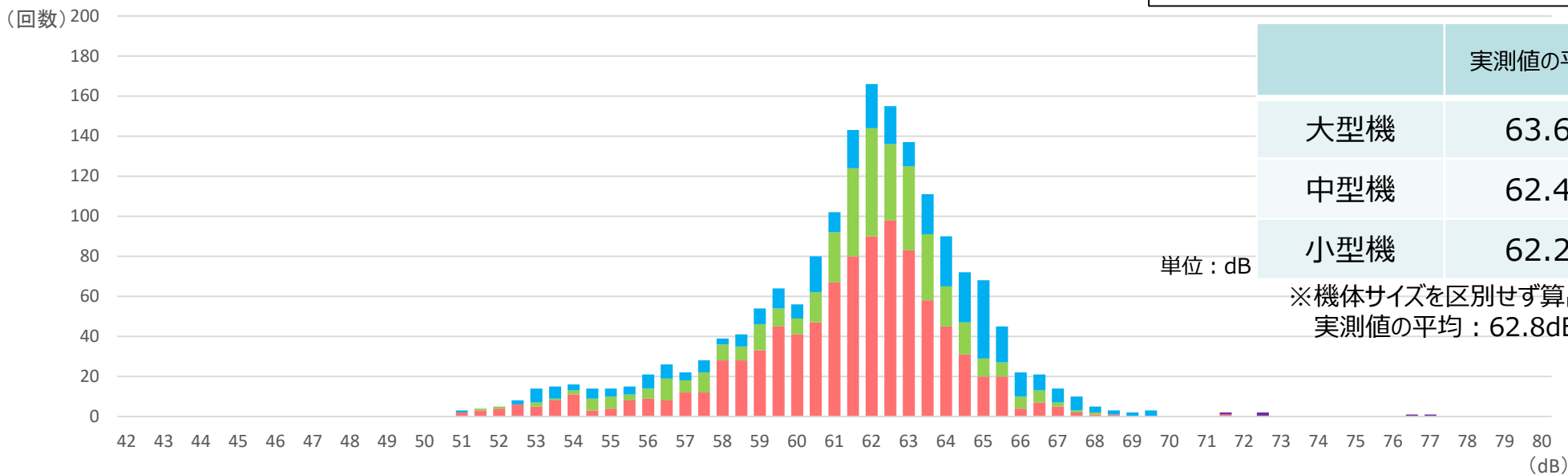
- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道際、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞こえる限界 0dB

飛行機の音 ※2 60~80dB

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) での瞬間最大レベルを示したものの。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で航行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音発生回数：1,714



単位：dB

	実測値の平均
大型機	63.6
中型機	62.4
小型機	62.2

※機体サイズを区別せず算出した実測値の平均：62.8dB

Lden	8月
	46.9

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】木更津下水処理場

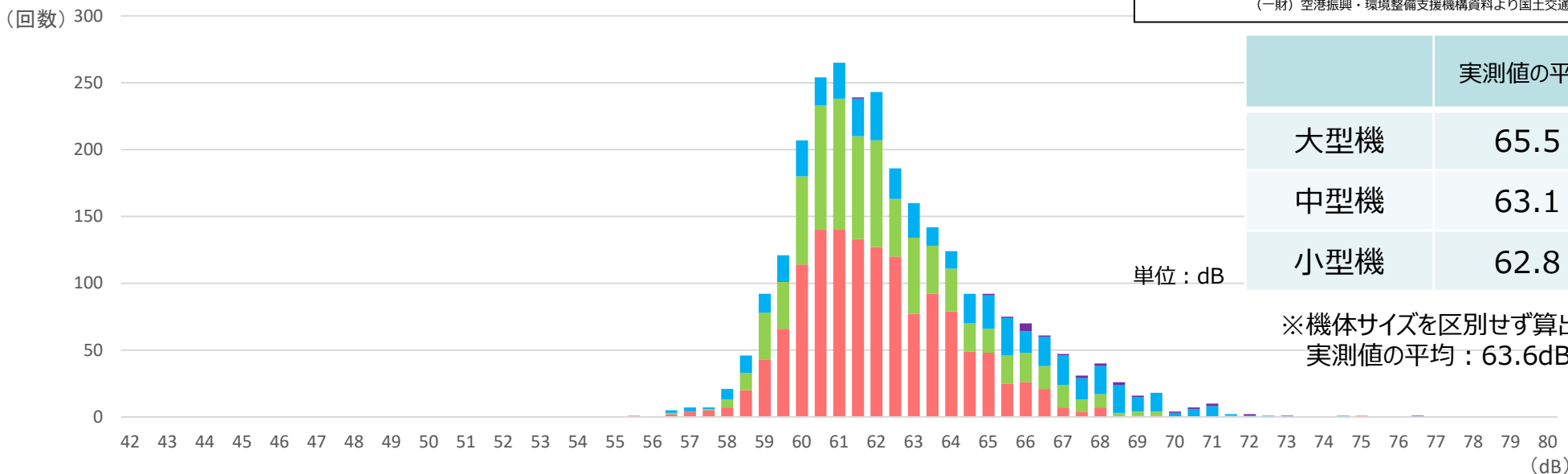
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北風着陸経路の側方1km程度に位置する。
- ・A滑走路北風着陸経路の側方500m程度に位置する。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：2,718



Lden	8月
	47.8

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])

- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道際、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞こえる限界 0dB

飛行機の声 ※2 60~80dB

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) での瞬間最大レベルを示したものである。
 ※2 飛行機の声は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で航行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

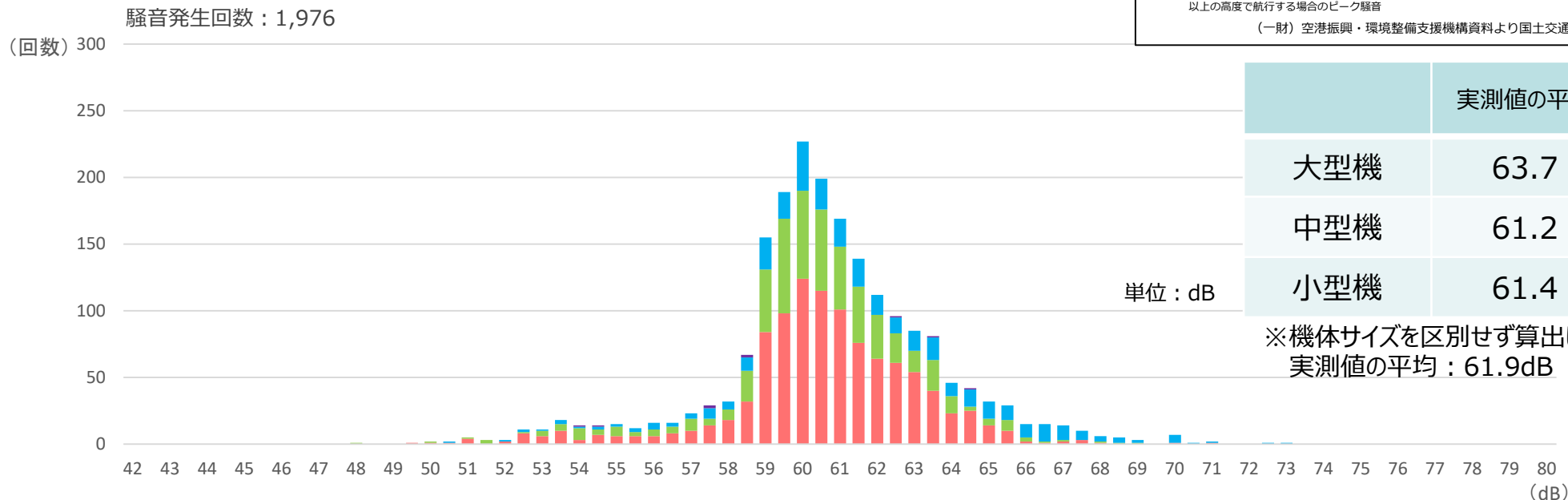
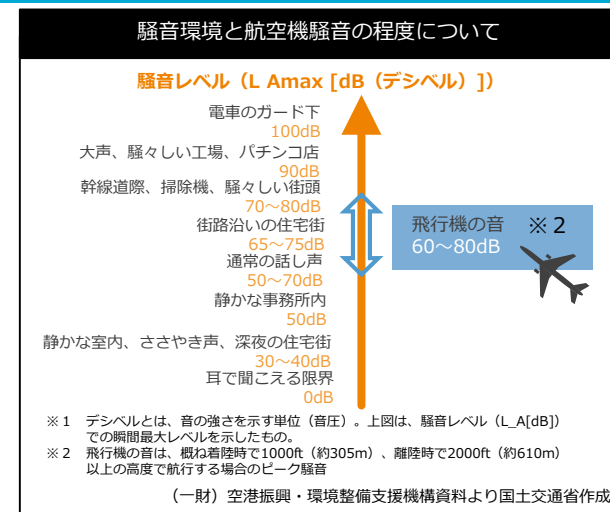
【測定結果(8月)】君津市立八重原小学校

○飛行経路定地と測点の位置関係等

- ・A滑走路北風着陸経路の側方500m程度に位置する。
- ・A滑走路北風着陸機とC滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



Lden	8月
	44.8

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】富津市立富津小学校

- 飛行経路と測定地点の位置関係等
 - ・A滑走路南風及びD滑走路北風離陸経路の航空機騒音を測定。

- 実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])

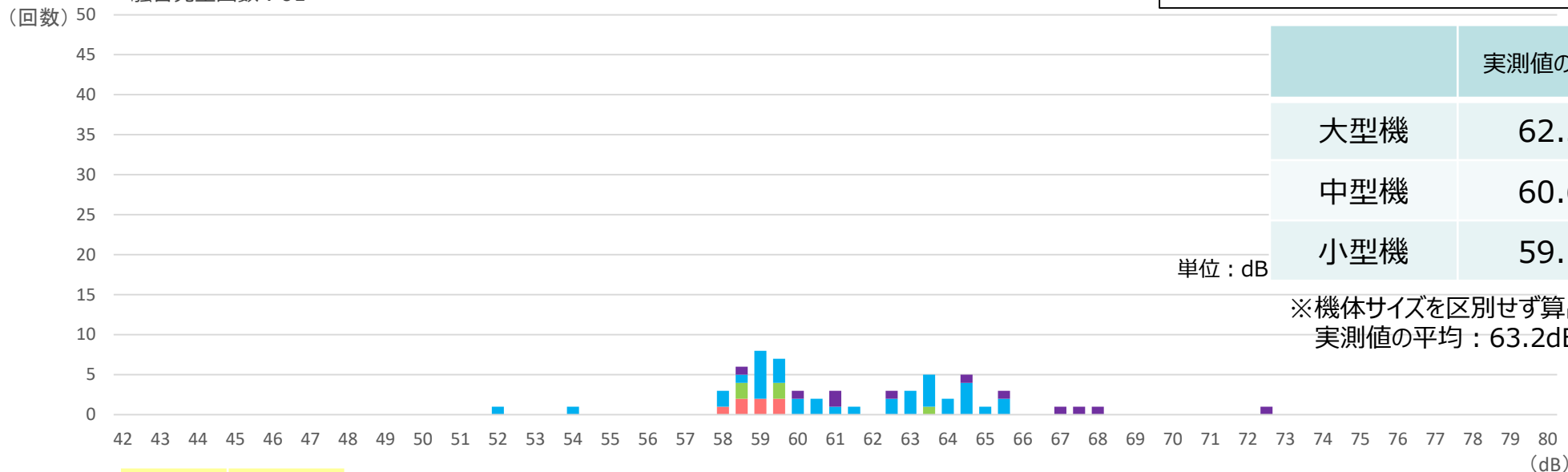
- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道際、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞こえる限界 0dB

飛行機の音 ※2 60~80dB

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L_A[dB])での瞬間最大レベルを示したもの。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m)以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音発生回数：61



※機体サイズを区別せず算出した実測値の平均：63.2dB

Lden 8月 34.8

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標